

＼令和4年9月23日開業！／
西九州新幹線
(長崎～武雄温泉)



【新幹線定期報告】

令和4年6月30日
新幹線事業対策室

1. 概況（西九州新幹線（長崎～武雄温泉）の進捗）

○工事進捗状況（長崎～武雄温泉）

| 区分 | 進捗状況 | | |
|------------|---|------|-------------|
| 土木工事 | 工事延長 67.0km（長崎県 49.2km、佐賀県 17.8km） 本線土木工事は、令和2年9月23日をもって完成率が100%となった | | |
| 建築工事 | 駅舎工事 | 新大村駅 | 令和4年3月11日竣工 |
| | | 諫早駅 | 令和4年3月16日竣工 |
| | | 長崎駅 | 令和4年3月7日竣工 |
| 軌道工事 | レール敷設は、令和3年11月末に完成率が100%となった (ルート全体で約66km、長崎県内では約49kmの施工が完了) | | |
| 電気工事 | 工事は完了し、走行試験を踏まえた最終調整を実施中 (ルート全体の電気工事進捗率は約99%) | | |
| 機械工事 | 工事は概ね完了し、残っている出改札設備（自動券売機、自動改札機）や 車両基地内の塗装設備などを設置中 | | |
| 大村 車両基地 | 本体工事は令和4年3月19日に完成 車両基地の外周道路などの付帯工事を実施中 | | |

※鉄道・運輸機構からの情報をもとに、当室にて整理したものである。

※土木工事の完成については、トンネルは覆工完了、高架橋・橋りょうはスラブコンクリート完了、路盤は施工基面完了をもって、完成と整理されている。

※軌道工事の完成率は、高さなどの最終調整まで完了した率を示している。

※電気工事の完成率は、設備の設置が完了した率を示しているが、最終的には諸試験の合格をもって、工事完了となる。

新幹線開業までに必要な工事は概ね完了し、残っている出改札設備（自動券売機、自動改札機）や車両基地内の塗装設備などを現在設置中である。

なお、脱線防止ガードの設置は、令和4年3月までに鉄道・運輸機構で全体の4割強（約30km）が完了し、残りは開業後にJR九州で行われる予定である。

また、高架下の整備や減濁水対策、環境対策対応などについては、引き続き令和7年度まで行われることとなっている。

2. ダイヤ・料金の発表

西九州新幹線のダイヤを令和4年6月10日にJR九州から発表された。

博多～長崎間は、特急と同じ22往復44本が運行され、最速1時間20分で結ばれる。これとは別に回送列車を利用した便が新大村～長崎間で3本運行される。

また、令和4年6月17日には、料金の発表があった。

ダイヤ・料金の詳細については、以下のリンク先（※外部サイトへ移動します。）をご覧ください。

【JR九州HP】

[・2022年9月23日ダイヤ改正（令和4年6月10日）](#)

[・西九州新幹線開業に伴う割引きっぷについて（令和4年6月17日）](#)

3. 大村車両基地への新幹線車両の搬入

令和4年6月11日から16日にかけて、新幹線「かもめ」(N700S)の3編成目となる6両が大村車両基地へ搬入された。

「かもめ」は、これまでと同じく製作場所から川棚港まで海上輸送され、その後、陸上輸送で大村車両基地へ搬入された。

また、最後の4編成目については、令和4年7月29日から8月7日にかけて搬入が予定されており、海上輸送の途中に、7月29日には唐津東港にて、30日には佐世保港にて、31日には長崎港の水辺の森公園にて、「かもめ」がお披露目されることになっている。

これをもって、搬入が予定されている4編成全てが大村車両基地へ搬入されることになる。

なお、「かもめ」お披露目のイベント詳細については、以下のリンク先（※外部サイトへ移動します。）をご覧ください。

【JR九州HP】

[・「私たち、かもめ。」プロジェクト始動！ 港で！駅で！市民参加型イベントを開催！](#)



川棚港での陸揚げの様子



陸上輸送に向けての準備の様子

4. 開業までの流れ

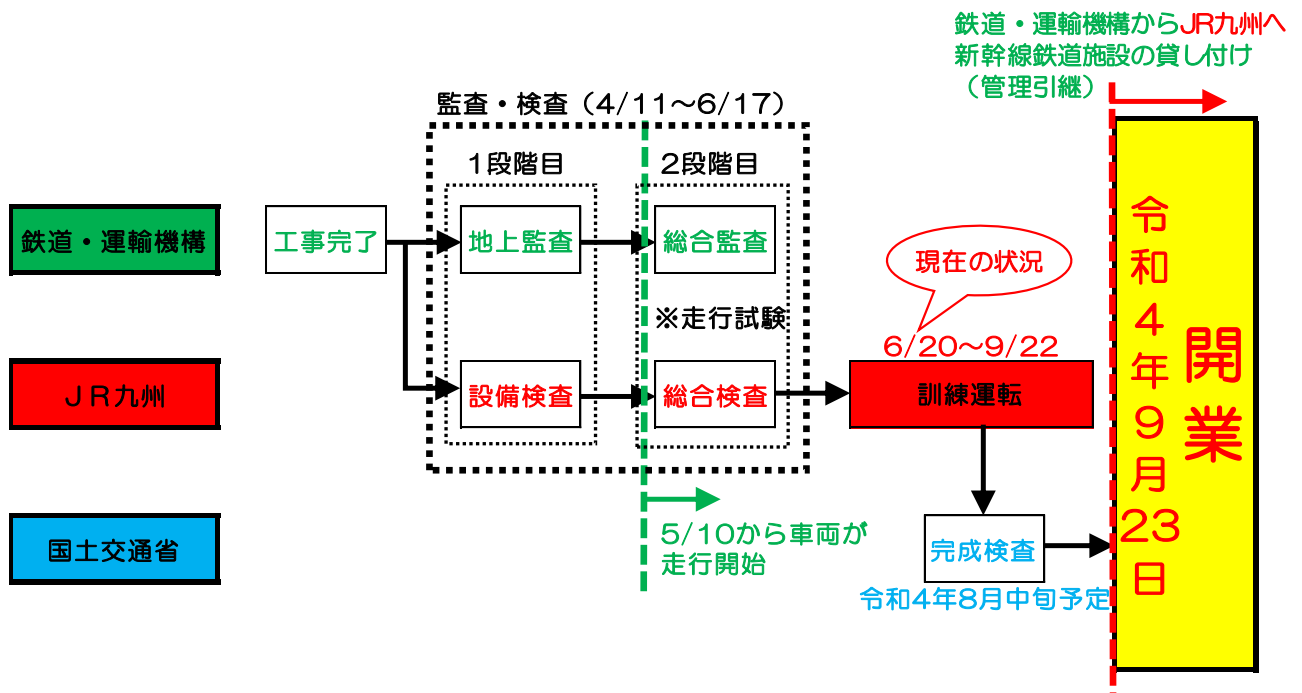
開業に向けて、鉄道・運輸機構による監査と JR 九州による検査が令和 4 年 4 月から行われていたが、安全走行に問題がないことを確認し、6 月 17 日に無事に終了した。

これを受け、6 月 20 日からは、JR 九州による訓練運転として運転士、乗務員の教育・訓練などを行うために、鉄道施設の管理の仮引継ぎが行われた。

訓練運転は、開業日前日の 9 月 22 日まで行われるが、早朝（6 時頃）や夜間（23 時頃）の走行も予定されており、最大 1 日 20 本程度の運行を行うこともあるとされていることから、公表されているダイヤに即した訓練運転が実施されるものと思われる。

そして、訓練運転に一定の目途がつき、営業準備が整うと、国土交通省による完成検査が行われ、この検査に合格すると開業出来ることになる。

なお、新幹線施設は、令和 4 年 9 月 23 日の開業のタイミングで鉄道・運輸機構から JR 九州に貸し付けが行われ、正式に管理が引き継がれる。



長崎駅付近での走行試験の様子



総合監査・検査の講評会の様子

5. 現業機関の設置

令和4年6月20日、JR九州が西九州新幹線開業に向けて、現地における諸準備と開業後の運営を行うため、新幹線・在来線の乗務員基地となる「長崎総合乗務センター」を長崎市尾上町に、新幹線車両の保守、点検基地となる「熊本総合車両所大村車両管理室」を大村市竹松町の大村車両基地内に、線路及び電線等の保守、点検拠点となる「新大村新幹線工務所」を大村市小路口町に設置した。

なお、大村車両基地内にある大村車両管理室では、現地で発足式が行われ、JR九州の古宮社長と鉄道・運輸機構九州新幹線建設局の瓜生局長によって看板が掛けられた。



R3.11 撮影

大村車両管理室



R4.6 撮影

発足式にて看板を掛ける様子
 (写真左) JR九州 古宮社長
 (写真右) 鉄道・運輸機構 九州新幹線建設局 瓜生局長



R4.6 撮影

長崎総合乗務センター



R4.6 撮影

新大村新幹線工務所

6. 新幹線定期報告の終了

本定期報告は、西九州新幹線の工事の進捗などを皆様にお知らせすることを目的として、令和元年 10 月から長崎県のホームページに毎月掲載を開始し、2 年 9 ヶ月間で 33 回となりましたが、開業に必要な工事も概ね完了したことから今月をもって終了とさせていただきます。

作成にあたりご協力いただいた独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構をはじめ関係の皆様、本当にありがとうございました。この場を借りてお礼申し上げます。

なお、定期報告は終了しますが、今後も西九州新幹線に関する情報につきましては「新着ニュース」に随時掲載していきますので、引き続きご覧いただけると幸いです。